



はかたんだより

No. 16
HAKATANDAYORI 2014
特別号

博多まちづくり推進協議会

博多まちづくりガイドライン2014策定特別号

平成 26 年 1 月 21 日 (火)、博多まちづくり推進協議会 平成 25 年度臨時総会がホテル日航福岡にて開催され、会員の皆さまの承認により「博多まちづくりガイドライン 2014」が策定されました。

地下鉄七隈線延伸や博多駅中央街南西街区開発など、博多のまちには今後も大きな変化が訪れます。ガイドラインに示す、博多のまちの将来像や、まちづくりの方針・方策に沿って、更に「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」の魅力あるまちづくりを実現していきましょう。



博多まちづくり
推進協議会

本郷 譲会長 コメント
(JR 九州専務取締役)



当協議会では昨年度から博多のまちの将来像を定めた「博多まちづくりガイドライン」の改訂を進めてまいりました。1年7ヶ月にもわたるプロジェクトにおいて、会員の皆さまをはじめ多くの関係者の方々にご支援を賜り、この度「博多まちづくりガイドライン 2014」を策定できたことにつきまして、改めて皆さまに厚く御礼を申し上げます。

特に今回改訂では、ガイドラインに定めたまちの将来像の実現に向けて当協議会が取り組む内容を新たに「アクションプラン編 2014-2016」として策定しました。今後、アクションプランに基づくまちづくり活動を積極的に展開してまいりますので、皆さまにおかれましても益々のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

博多まちづくり
ガイドライン改訂
プロジェクト座長

坂井 猛教授 コメント
(九州大学工学部建築学科教授・
新キャンパス計画推進室・副室長)



この度のガイドライン改訂を心よりお祝い申し上げます。プロジェクトの座長を拝命し、改訂作業に参加させていただきました。改訂版は、(1) 理事会、ワーキング、プロジェクトにおける建設的で真摯な議論、(2) 30 回に及ぶワーキングでの事務局の周到な議題設定と資料準備、(3) コンサルタント会社の明るくかつ前向きな姿勢と繊細な作業、(4) 常に全体を把握した協議会役員の策定への的確な道筋設定によって、時間をかけてブラッシュアップされていきました。にぎわいを生み出すイベント等のソフト面の充実やアクションプラン等を新たに加えることにより、次世代の博多まちづくりにとって更にふさわしいガイドラインがビルトインされました。ガイドラインの活用によって、まちにますます「磨き」がかかることを願う次第です。

「博多まちづくりガイドライン 2014」が生まれるまで...

初めて「博多まちづくりガイドライン」が策定されたのは、平成 21 年 12 月。目前に迫った、九州新幹線全線開業と新博多駅ビル開業に向けて、博多のまちの将来像をまちのみなで共有しようと作られたものでした。それから 3 年、人の往来は増え、年齢層や性別・国籍など、まちを訪れる人そのものも変化してきた博多のまち。更に協議会のまちづくり活動が活発に行われ、博多駅中央街南西街区開発や地下鉄七隈線延伸の計画も動きはじめます。

このようなまちの変化に合わせ、更なるまちの発展を目指すため、平成 24 年 7 月に「博多まちづくりガイドライン」改訂プロジェクトが立ち上がりました。

このプロジェクトでは、平成 24 年 9 月から全 7 回の「プロジェクト会議」を開催し、延べ 280 名の会員の皆さまにご参加していただきました。グループごとにテーマに沿ってまちの理想像を語りあい、会議の最後にはグループごとに意見や課題、アイデアを発表しました。他にも、福岡市や協議会役員の皆さま、さらに会員以外の皆さまからもアドバイスをいただいて、本当にたくさんの思いが詰まった「博多まちづくりガイドライン 2014」が完成しました。4月の臨時総会では冊子になったピカピカのガイドラインが皆さまのお手元に届きます。ぜひゆっくりとご覧ください。



▲ “初代” 博多まちづくりガイドライン



▲ プロジェクト会議の様子

完全攻略!

これが博多まちづくりガイドライン2014だ!

① 地下鉄七隈線延伸(H32)を見据える

平成32年度に地下鉄七隈線が天神南～博多まで延伸します。これによりキャナルシティ博多周辺に新しい駅が設置され、人の流れも大きく変わることが予想されます。この機会をチャンスと捉え、博多をさらに魅力あるまちにするための方針・方策を記載しました。



- (1) 新設される「中間駅(仮称)」の整備に伴い、新たなにぎわい拠点となるような空間づくりを促進し、集客した人をまちへ回遊させる取組みを充実させる。
- (2) 七隈線延伸後、「はかた駅前通り」が更に歩いて楽しい魅力ある通りになるための取組みを充実させる。



「はかた駅前通り」は博多のメインストリート!歩いて楽しい歩行者中心の通りにしたい。通りを使ったイベントがあれば、まちのにぎわいも広がりますね。

福岡地所(株) 溝口直美さん

ここでは全75ページにわたる「博多まちづくりガイドライン2014」の、ポイントを絞って説明します。もちろん今後の協議会の活動でも重視していく大事なポイントになりますので、ぜひ頭に入れておいてください。

② 「防災」及び「環境(エネルギー)」に関する活動を充実させる

過去に博多も経験した大水害や地震の被害、そしてまだ記憶に新しい東日本大震災…防災は今や全国共通の課題となっています。また、合わせてエネルギー問題も重要視されるようになり、博多が安全で安心して過ごせるまちになるためには、このような活動にも取り組んでいかなければなりません。

- (1) 博多のまちにおける災害を想定した帰宅困難者対策や備蓄などの事例を示し、まち全体の防災意識を高める。
- (2) 環境にやさしい公共交通利用促進など、省エネや創エネの取組みを充実させる。



災害が起こったらどこに避難したらいいの?食べ物はあるのか?帰宅困難者はどれくらい発生するの?そういう情報を共有することが、まずは大切だと思います。

清水建設(株)九州支店 田中秀さん

③ 新しくなった駅の力を最大限に生かす

平成23年3月、九州新幹線全線開業と新博多駅ビルの開業が博多のまちを変えました。これまでスーツ姿のビジネスマンが多かったまちに、家族連れやカップル、外国人やお年寄りなど様々な人が訪れています。駅に集まったあらゆる層の人達をまちへ送り出す、「駅からまちへ、まちから駅へ」、まだまだ出来ることがあるはず。



- (1) 商業施設の開業により、まちの新たなターゲットとなった、女性や家族連れに焦点を当てた取組みを充実させる。
- (2) 主軸となる通りの特徴を明確にし、それぞれの通りに合った取組みを充実させることで、駅に集客した人をまちへ回遊させる。
- (3) 既存の公園やみどりを活用した取組みを充実させる。
- (4) 博多駅築紫口が、おもてなしの玄関口としてふさわしい姿になるよう、交通問題の解決を糸口に将来像を具体的に検討していく。
- (5) 天神やウォーターフロント地区との連携を深め、エリア相互の回遊性向上などに取組むことで、福岡都心部が一体となったまちづくりを推進する。

築紫口には便利なホテルや飲食店がたくさんあります。訪れた人が新幹線を降りて最初に目にする場所だから、おもてなしの気持ちを感じられる場所にしていきたいですね。



西日本旅客鉄道(株)新幹線管理本部 福岡支社 長野文彦さん

④ ガイドラインの実効性を高める

今回の改訂では、ガイドラインに描くまちの将来像を実現させる具体的な方法を示すことに取り組みました。ガイドラインの中で様々なまちづくりの手法を紹介するとともに、私たち協議会が主体的に取り組む具体的な活動を「アクションプラン編2014-2016」として決めました。まずは3年後に目指すべきまちの姿を明らかにし、その実現に向けた活動を段階的に示すことで、ガイドラインに描く将来像実現を着実に進めます。

- (1) ガイドラインに沿った将来像実現の参考となる制度の活用事例を具体的に示す。
- (2) ガイドラインにもとづき、協議会としての活動目標や活動のステップを示した「アクションプラン」を作成する。

アクションプランで期待される効果

- ・具体的な活動を示すことで、まちづくり活動を広く知ってもらうことができ、参加者が増える。
- ・優先的に取り組むべき事項が分かりやすく示される。
- ・取り組みの成果と課題が見えるようになり、会員のモチベーションの維持・向上につながる。
- ・アクションプランがあることで、継続的な活動が展開される。



まちの将来像だけでなく、協議会の具体的な活動も共有できるものがあると、会員も参加しやすくなると思います。

(独)都市再生機構九州支社 黒田順子さん

まだまだあります! ガイドラインの見どころ

イメージカラーは「紫」

「博多まちづくりガイドライン2014」の表紙は紫。江戸時代に筑前藩主黒田長政が幕府に献上していた博多織に使われた紫、青、赤、黄、紺の五色から選びました。また、博多区のシンボルマークも、伝統ある寺社や山笠等の祭りをイメージして紫を使用しています。博多の伝統と風格ある感じが伝わりますか?

その1

博多のまちも負けられんばい!

今回のガイドラインでは、協議会の活動を進める上での参考にするため、博多だけでなく他都市のまちづくりに関する先進事例も多く紹介しています。



その2

まちのイメージも新しく!



表紙や第5章の「博多のまちの将来像」で描かれているイメージスケッチ。こちらは前ガイドラインからあった2枚を修正し、ゆとりある駅前広場の絵を新たに追加しました。フラワーボットを用いた美しく広い歩道など、歩いて楽しい、にぎわいあふれる博多のまちが、紙面から飛び出してくるようです。

その3

目指すは「まちの教科書」

いよいよ開発工事が始まった「博多駅中央街南西街区」。平成28年には大規模な商業ビルとオフィスビルが揃ってオープンし、博多のまちに新たな風を吹かせます。

ところでこのエリアの開発を進める上では、なんと初代「博多まちづくりガイドライン」が参考として活用されたんだとか!今回策定した「博多まちづくりガイドライン2014」も、これから進む様々なまちづくりの指針となることを期待します。



その4

新春

博多まちづくり交流会でお祝いしました!

臨時総会後に開催した「新春・博多まちづくり交流会」には、150名の会員さまが参加し、美味しいお酒とお料理をいただきながら、「博多まちづくりガイドライン 2014」の策定を祝うとともに、会員同士の交流を深めました。

ジャズ・オルガン・トリオによる楽器の生演奏で始まった今年の交流会は、KBC 加藤恭子アナウンサーの司会により進行し、会員の皆さまからご提供いただいた豪華プレゼントによる恒例の抽選会には、今年の干支である「お馬さん」と「ジョッキー」が登場して会場を盛り上げました。



～全国からメッセージが届きました～

まちづくりの「わ」

「博多まちづくりガイドライン2014」策定に伴い、全国からお祝いと応援メッセージが届きました！視察を受け入れていただいたり、共に活動を行うなど、様々な場面でご協力いただいた皆さまです。これからも全国のまちづくり団体の皆さまと情報交換を積極的に行い、先進的なまちづくり活動について学んでいきましょう。

千葉県
柏市

柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)

出口 敦 センター長
(東京大学 大学院
新領域創成科学研究科 教授)



博多まちづくりガイドラインが改訂されましたが、依然として変わらないテーマは、「歩きたくなるまち」。駅を起点にして、どれだけ多くの人々にまちを楽しみながら歩いて頂けるか、そのために再開発の力を利用して如何にして魅力的なまち並みを整えるのかがポイントです。まちのプロモーションやガイドラインに基づくまちづくりを牽引する UDCK のようなセンター設置も是非考えていただきたいと思います。これからの博多のまちの進化に期待します。

福岡県
福岡市

We Love 天神協議会

鳴山 一機
事務局長



博多と天神が、互いの個性を活かしながら、良い意味でライバルとして競争し、そして手を取り合えば、福岡は他都市に負けないすばらしいまちになると思います。共にごがんばっていきましょう！

東京都
千代田区大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会

金城 敦彦
事務局長



アジアの有力都市、福岡市にあって、鉄道・空路・海路で日本全国・アジア諸都市と密に結ばれる博多。歴史・文化に裏打ちされたこのまちが「ガイドライン」を活用したまちづくりを推進し、一層人々が熱く交流するまちとなるのが楽しみです。

プロジェクト事務局より

平成 24 年度からスタートした、「博多まちづくりガイドライン」改訂プロジェクト。会員の皆さまには、プロジェクト会議への参加、素案のご確認、理事会及び総会への参加など、お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございます。ガイドラインが形になったことはもちろんですが、普段なかなか聞くことの出来ない、会員の皆さまのまちづくりに対する思いを直接聞けたということが、このプロジェクトの大きな意味だったように思えます。

このプロジェクトはこれもちまして解散となりますが、博多のまちづくりはまたここから始まります。「博多まちづくりガイドライン 2014」に描くまちの将来像実現を目指して、まちづくりを進めていきましょう。今後ともご協力をどうぞよろしくお願い致します。



プロジェクト事務局による会議の様子